

# 一般質問

東海林 剛  
（民主クラブ）

## 財政健全化計画は

問 事業の取捨選択における判断は、まちづくりにおいて何を実現しようとしているのかが問われる。進む方向性を明確に示し、市民に安心と希望を与える理念を語る事が必要である。

答 事務事業の取捨選択は、公共性や行政関与の妥当性などを幅広く検討し、総合的に判断していく事が重要。特に市民サービスの廃止は影響に十分配慮し、理解を求めると共に、より有効で効率的な事業への再編も合わせて検討していく。

次期総合計画では5年後、10年後、20年後を見据え人材や地域資源、限られた財源を有効に活用しながら夢と希望の持てるまちづくりの実現に市民総意で取り組む。

## 農村観光都市形成の課題は

問 観光と農業は相乗効果を生み出してきた。しかし、農業生



農村観光風景

覚 幸 伸 夫  
（民主クラブ）

## 雇用創出の取り組みは

問 観光振興による雇用創出は。18年度の市の観光客宿泊延数が52万人と売上増による雇用の経済効果も高い。宿泊滞在型を推進する雇用確保に向けた新パッケージ事業は、長期滞在の外国人観光客の国際観光地として、新たな特産品も開発して雇用の拡大に取り組む。



長期滞在型による雇用の促進

問 建設業の新分野雇用創出は。道内の建設投資額は19年度で、ピーク時の約54%に落ち込んでいるが、建設事業者および

就業者数の減少は少なく、過剰状況。建設業は技術、技能のノウハウと建設機材等を持ち、新事業に意欲がある企業には新商品の製造、販路開拓等への補助、融資等の支援を設け、市は制度、支援内容をPRする。

## 介護老人施設の増床は

問 地域密着型サービスの認知症介護施設の増床の考えは。

答 現在、市が指定している事業は認知症高齢者グループホームのみで、3事業者で5ユニットがあり定員45名の利用状況。他市町村には、13名の方が利用されており、第4期介護保険事業計画では審議中で、2ユニット18名の整備を検討。

## 環境整備の対策は

問 空知川へのゴミ大量発生と富良野川の河川増水による洪水被害から整備状況と維持管理は。

答 市は開発局及び土木現業所と連携。各種団体の協力を得て河川環境の向上に向け啓発。富良野川の整備維持管理をする。